

2016 年 12 月 1 日

## (株)東京環境測定センターニュース

(No. 195)

環境省から「平成 27 年度アスベスト大気濃度調査結果」について平成 28 年 9 月 15 日に発表されました。(環境省ホームページより抜粋・一部編集)

<http://www.env.go.jp/press/102884.html>

環境省では、アスベスト（石綿）による大気汚染の状況を把握し、今後のアスベスト飛散防止対策を検討するための基礎資料とするとともに、日本で暮らす方々に対して情報提供するため、平成 17 年度より毎年度、大気中のアスベスト濃度を調査しています。このたび、平成 27 年度の調査結果を取りまとめが完了し発表となりました。

平成 27 年度は全国 44 地点、110 カ所で測定を行い、一部の解体工事の作業現場や旧石綿製品製造事業場などでアスベストが確認されましたが、その他の地点においては、アスベスト以外の繊維を含む総繊維数濃度について、これまで調査した一般大気環境とほぼ変わらない結果となりました。

平成 28 年度も引き続き大気中のアスベスト濃度を測定する予定です。また、東日本大震災の被災地である福島県においても、継続して大気濃度調査を実施しています。

弊社でも試料の採取および分析は「アスベストモニタリングマニュアル（第 4.0 版）」（平成 22 年 6 月 環境省水・大気環境局大気環境課）対応しております。

これは、位相差顕微鏡を用いてアスベスト以外の繊維を含む総繊維数濃度を求め、総繊維数濃度が 1 本/L を超過した場合は、電子顕微鏡で物質を同定する方法です。

---

御質問、問合せは、技術グループ 課長 坂井 TEL03(3895)1924 までお願いします。